

「コープみらいフェスタ in スーパーアリーナ」

写真が語る「賀川豊彦の平和活動」開催

(2015年11月3日(火・祝)さいたまスーパーアリーナ)

日本生協連勤務 市川智弘

昨年12月に急に襲った椎間板ヘルニア・坐骨神経痛により、激痛と痺れで身動きできなくなり、掲載を延期していただいたのを今回掲載させていただくことになりました。ご迷惑とご心配をおかけしましたこととお詫びいたします。

もう、無理はできない年齢になったことを実感しました。

本題に入ります。

昨年2015年11月3日(火・祝)さいたまスーパーアリーナで、「コープみらいフェスタ in アリーナ」が、さいたまアリーナで行われ、延べ5万人の来場者をお迎えしました。

この会場内で、写真が語る「賀川豊彦の平和活動」をコープネット賀川豊彦研究会が出展しました。今回は、賀川豊彦の「友愛・助け合い・世界平和を求め続けた生涯」をパネル展示でご紹介しました。親子連れの方々が多数ご来場され、ご覧いただくだけではと思い、「一粒の麦」ではなく「ひまわりの種」をアンケートに回答していただいた方々にお渡ししました。

この「ひまわりの種」は、茨城県北茨城郡茨城町の休耕田で栽培されたひまわりです。

当日会場に展示しましたパネルを別添でご案内いたします。

ひとつひとつのパネルはわかりやすく表現しておりますので、ご覧いただきますよう、よろしく願いいたします。

アンケートにおこたえいただいた方々の主なご意見・感想を載せさせていただきます。

ご来場者の主なご意見・感想(抜粋)

- ① すごい人なんですね
- ② 名前も知らなかったですが、よく解りました、ありがとうございます
- ③ やっぱり生協の理念は大切
- ④ 生協は利用していましたが、全く知らなかったです
- ⑤ 平和・子ども大切です
- ⑥ ひまわりが咲くのが楽しみ

ご来場者のお母さんの主なご意見・感想(抜粋)

- ① この子たちを戦争に行かしたくないですね
- ② 生協は古くから活動しているのがわかりました、びっくりしました
- ③ ひまわりが好きなのでクイズに参加します

危機感・危機的状況を

*コープみらいとは

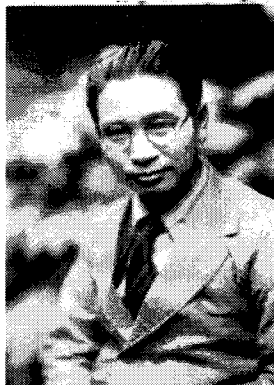
2013年3月21日、ちばコープ・さいたまコープ・コープとうきょうの3生協が組織合同(合併)し、組合員数315万人の生協です。2015年3月20日現在・コープみらいHPより引用しました。

*照会文・画像は、写真が語る「賀川豊彦の平和活動」出展団体のコープネット賀川豊彦研究会代表刈谷雅夫氏のご協力をいただきました。(埼玉県在住市川智弘)

友愛・助け合い・世界平和を求め続けた生涯



【スラムでの救済活動】



【賀川豊彦】



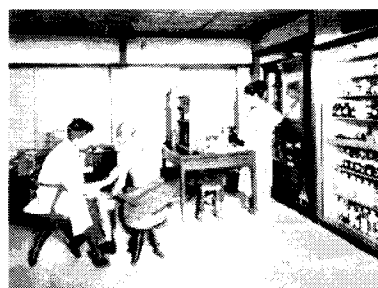
【労働運動：三菱造船争議】



【農民運動：農民福音学校】



【生協運動：灘神戸生協設立】



【医療協同組合設立運動】

賀川豊彦は、1888年（明治21）に神戸で生まれましたが幼くして両親を亡くし、5歳から17歳までを父の故郷である鳴門市大麻町東馬詰で過ごしました。

その後、キリスト教や哲学、心理学などあらゆる分野を学び、21歳のときに神戸のスラム街に移り住んで社会的弱者の救済活動に身を投じ、日本の社会運動の草分け的存在となりました。

大正から昭和にかけて活躍し、関東大震災（1923年）でのボランティア活動や労働運動、農民運動などを展開。

1945年（昭和20）には「日本協同組合同盟」を結成して、生活協同組合などの組織を生み出す基礎をつくりました。

世界的な平和運動家でもあった賀川は、ガンジーやアインシュタインらとともに徴兵制廃止などを提唱。

軍国主義が台頭し始めた昭和初期には反戦を唱え、戦後は一貫して戦争反対や核兵器廃絶運動を行い、ノーベル平和賞の候補にもなりました。

友愛・助け合い・世界平和を求め続けた生涯



関東大震災直後【江東消費組合設立】



【被災地で日曜学校開設】



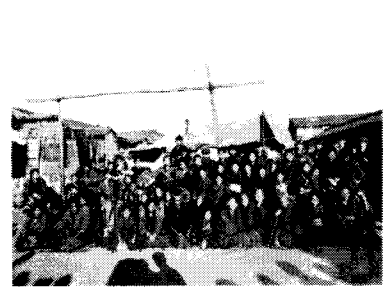
【中ノ郷質庫信用組合設立】



教育運動【スラムの子どもの遠足】



【静岡御殿場で高根沢保育園設立】



【スラムで初のクリスマス会】

1923年（大正12）関東大震災直後、賀川豊彦は最も被害のひどかった本所深川方面の惨状を見て、本所松倉町に救援活動の拠点を置きました。救援活動の拠点とした本所に江東消費組合を設立しました。神戸でもそうであったように、どん底に自らを置き被災者と共に生活しなければ本当の苦しみはわからないし、良き隣人にもなれないと考え、そこに住み着きセツルメント活動を開始しました。賀川豊彦はこれを機に活動の拠点を神戸から東京に移すことになりました。賀川は1926年（大正15）から既に『ボランティア』という言葉を使っています。

〔被災者の目となり、耳となり、口となる〕

「6つの子どもの権利」[1924（大正14）年、東京深川の児童保護講演会]

1. 子どもは食う権利がある
2. 子どもは遊ぶ権利がある
3. 子どもは寝る権利がある
4. 子どもは叱られる権利がある
5. 子どもは親に夫婦喧嘩を止めて乞う権利がある
6. 子どもは禁酒を要求する権利がある

1999年12月、国連が採択した「子どもの権利条約」のもと、ユニセフの「子どもの最善の利益を守るリーダー」として、世界の52人の一人に選ばれました。

非戦論（反戦・戦争阻止・無抵抗主義）の確立



【マヤス牧師】



【ローガン牧師】



【徳島新聞に平和論を投稿】



片山 潜



ジョン・ラスキン（英吉利）



安部磯雄

★マヤス、ローガン牧師との出会い「賀川豊彦」

- 1895年（7歳）日清戦争のとき若い人の遺骨を葬る式に小学生全員参列。そのときしみじみと戦争が悲惨なことを感じた。
- 1904年（16歳）、カントの平和論を引用し、マルクスの主張、カーライル、ラスキン、トルストイなどの言葉をかりて人道の本義を語り、無抵抗主義を説き、帝国主義から社会主義への道を論じ、遠く世界の平和にまで論及した。
- 1905年日露戦争下に徳島中学校の校庭で軍事教練用の銃を投げ捨てた。逆上した陸軍大尉に殴られ血に染まって校庭に倒れた。賀川豊彦は明治学院でも平和論者として「無抵抗主義」の立場を貫いた。
- 徳島に帰省中、徳島中学校校長鈴木健太郎の「徳島新聞に連載中の帝国主義論」に反撥し、賀川は「世界平和論—帝国主義は人文史の一段階」を投稿し激しく論破し、1906年8月16日から24日まで、7回連載で「徳島毎日新聞」に掲載された。
- 明治学院の月例弁論大会で堂々と非戦論を説き無抵抗の主に倣うべきことを雄弁に説いたため、上級生数人に呼び出され校庭で殴打される。

※ジョン・ラスキン：【胡麻と百合】

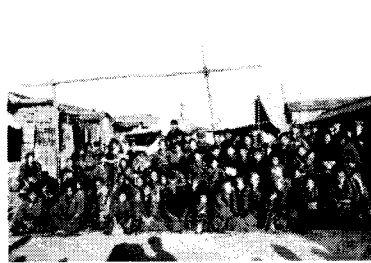
※トルストイ：【我が懺悔】【我が宗教】

※アンドルー・カーネギー：【平和論】

平和教育は子どもたちから



【スラムでの救済活動】



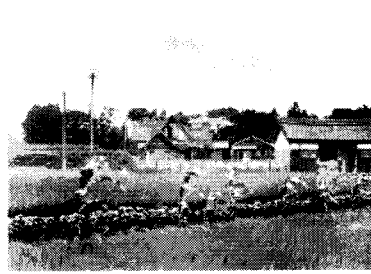
【初めてのクリスマス会】



【子どもには自然が大切：遠足】



【一麦保育園の開設】



【御殿場農民学校併設の保育園創設】



【松沢教会と松沢保育園】

■1931年（昭和6）松沢に教会幼稚園、1932年（昭和7）瓦木に一麦保育園を設立
1924年（大正14）、東京深川の児童保護講演会で「6つの子どもの権利」を提唱している。
国連で「子どもの権利に関するジュネーブ宣言」が採択される3ヶ月前の話である

1. 子どもは食う権利がある
2. 子どもは遊ぶ権利がある
3. 子どもは寝る権利がある
4. 子どもは叱られる権利がある
5. 子どもは親に夫婦喧嘩を止めて乞う権利がある
6. 子どもは禁酒を要求する権利がある

1999年12月、国連が採択した「子どもの権利条約」のもと、ユニセフの「子どもの最善の利益を守るリーダー」として、世界の52人の一人に選ばれました。